岩盤ボーリング柱状図

調査名　その他河川　赤石川　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	No.14	調査位置	広島県三原市木原町地内			北緯	34° 23′ 18.9123″
発注機関	広島県東部建設事務所 三原支所			調査期間	令和4年11月 4日～ 令和4年11月 8日	東経	133° 08′ 02.7397″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	104.08m	角度	180° 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	37° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	11.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型			
			エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12F		ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1				礫混り粘性土	明褐								φ2～50mm位の角礫が20%位混じる。 礫主は流紋岩。マトリックスは砂質シルト。粘性やや高い。	
2	101.68	2.40										0[0](100)		
3				流紋岩	褐灰	w5	h1	E	VI	d	D	0[0](100)	GL-4.50m付近までは、強風化した流紋岩。原岩組織はやや不明瞭。	
4														
5	99.58	4.50				w5			V	c		0[0](100)		
6												0[0](100)		
7	97.58	6.50			暗灰	w4		C	IV		CL	4[0](100)	GL-4.50m～6.50m付近、強風化部となっているが、所々未風化部が挟まる。 未風化部もやや軟質で、ハンマー打撃により容易にバラバラになる。	
8	96.68	7.40										8[0](100)	GL-6.50m～7.40m付近は、やや硬質となるか、亀裂が多い区間ではやや軟質となる。 .亀裂は30°位と60°位のものが多い。	
9						w3			III	c		8[0](100)	GL－7.40m以深、硬質になるが30°位と60°位の亀裂が多い。 亀裂部に数mm位の粘土脈が挟まる。	
10												13[13](100)		
	93.68	10.40								b		13[23](100)		
11	93.08	11.00												
12														
13														
14														
15														
16														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.15	12/300		
	1.45			
20	2.15	20/300		
	2.45			
26	3.15	26/300		
	3.45			
31	4.15	31/300		
	4.45			
20	5.15	20/300		
	5.45			
46	6.15	46/300		
	6.45			

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
11/4	600	102/ケーシング	S/MC	1	30	0	W3/0	0
	300	86/ケーシング	HW/DB	0	80	0	W3/5	5
11/5	300							
	240			0	80	0	W3/5	5
	120					0	W3/5	0
	300			0	80	0	W3/5	3
	150			0	160			
11/7	120	66	HW/DB	0	160			
	120			0	160			
	120			1	180	0	W3/5	0
	120							
	120							
11/8	120					0	W3/5	0